

組織・グループ名	Skip ～障がいのある子もいない子も一緒に英語であそぼう！～
活動区分 ※いずれか1つに○をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般助成 〔 当事者活動支援・福祉の学び推進・地域福祉ニーズ(課題)対応 地域福祉コミュニティ構築 〕 ● 協働事業助成 〔 1. 福祉教育・ボランティア学習プログラム構築に係る先駆的な活動 2. 地域住民、関係機関・団体の福祉意識の醸成を基盤とし、幅広い世代の社会参加推進に係る先駆的な活動 〕
助成事業名	英語をツールとした発達障がい児と地域のつながり創造取組事業

助成事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入すること。

Skip

Skip では「英語」をツールに、障がいのある子もいない子も一緒にコミュニケーションを楽しみ、「地域の友だち」として相互理解を深めることを目的に、発達障がい等に訓練を受けた講師を迎え、地域の自治会ともつながりながら、年間を通じた毎週の英語活動とクリスマスお楽しみ会+ミニ発表会を行っています。

障がいのある子もいない子も一緒に英語活動

火曜日の放課後、園児・低学年は歌や踊り・絵本を中心に、高学年と中高生はソーシャルスキルを磨くゲームや音読・発表を中心に、コロナ禍でも各38回の英語活動を行うことができました(例年43回)。通常の教室では参加の難しい子どもたちも分け隔てなく、同じ仲間と一緒に英語を楽しんでいます。子供だけでなく大人の温かい目も大切と保護者らも連携協力、町内会館を利用して地域にもご理解ご協力いただきながら活動しています。



クリスマスお楽しみ会+ミニ発表会の開催

毎年11月頃からこの発表に向け練習が始まりますが、今年は開催自体を迷いました。が、子どもたち全員から楽しいからやりたい!との声が上がったのには驚きました。人前で発表するのは楽しい!と皆が感じられるのは素晴らしいこと。安全第一に今年は宣伝もせずクラスごとに開催、それでもお友達や町内会の方も来てくださり1年の成果をよく披露し楽しみました。

活動の成果

発表も3年目になると皆大事なことが分かり、自分のパフォーマンス向上のみならず、友達をほめたり励ましたりする様子が見られました。家でも自分から英文を書いたりと楽しんで取り組む子が多いです。誰もが認められ安心できる環境が意欲に繋がっています。